

# 第6回ワークショップ 活カグループまとめ

買物難民にならないまちづくり。  
他に行かなくても臼田のまちで  
買い物できる町内完結型の商店

病院だけで終わらず、つながるものを  
周辺に作る。魅力あるコンパクトなまち

佐久平中心の現状を打破し、臼田に核をつくる意識改  
革。地域医療センターで済むように予防と健康管理。  
人的サポートと支援策があれば人は集まる。分散して  
いる力の集約。

まちづくりで成功した地域に共通している  
のは、メイン地区に力を入れること、特色

見通しが厳しい時代で、ハコモノに  
も期待できない。行政と協働で住  
民自らやっていくしかない。

いかに人を集め、人口流出を阻止で  
きるか。臼田駅からのアクセスなど  
環境整備が必要。

勝間園・臼田高校・インターからの取り  
付け道路など、臼田地区内にある都市  
計画の資料が必要。

臼田には共同浴場がない。「ワンコイ  
ン銭湯」のようなものがあれば。

活性化の対象は人。「エネル  
ギーの地産地消」を目指して、  
広大な荒廃地の有効利用。

商業は外部からの参入も考えては。大きなまちづくりとし  
て、老健施設や老人ホームの建設も検討し、老人が町  
内で生活できる福祉・介護の町をめざす。

工業関係は、臼田への思い入  
れが薄い。病院を核とした商  
店街の存続には発想の転換  
が不可欠。

交通が便利になると、ここに  
とどまらず出て行ってしま  
う。今あるヒト・モノ・場所を有効  
に使って出来ることから。

病院を中心に、人が回遊できる町づくり。若  
月総長の生家を記念館にする。臼田出身  
の偉人達を検証する施設・民俗資料館など。  
買い物・食事・入浴が町内で出来るまち。

工業分野のノウハウを活かし、  
医療の機材などの地元企業  
での製造・メンテナンスを考  
える。

病院周辺の空き店舗・空きビルの有効利用。空き医師住宅の有効利用。「ケ  
アつき住宅」「老人マンション」などの検討。職員駐車場の有効利用で、人の  
流れを自然に作る。